

平成二十八年六月投句

【管崎宮（紫陽花 菩提樹の花）】

片翅の羽蟻のあゆむ円ゆがめ

「唐船」の歌碑に静もる夏木立

はぐれ行く蛍の先に星赤く

勝利

色薄き夏萩風に咲き初めて

真理子

聴ひているはずの妹へと祭笛

ヒューズとび羽蟻の闇に瞬きぬ

蛍飛び始めましたと回覧板

涅槃絵の寺菩提樹の花満ちて

ダム底の村の記念碑梅雨に入る

節子

神紋の双葉葵や天下祭

由紀子

こんにやくと寺に売られて夏みかん

高層ビル囲む神社の夏木立

雪抱く飯豊はるかに桐の花

豆二列植ゑてはじまる朝かな

光子

【お休み】

佳与子

門々に紫陽花咲かせ社家の町